

ウイルスから 身を守る! 最新 コロナ 感染防止 グッズ

いまだ新型コロナウイルス感染症は収束の兆しを見せず、様々なメーカーが感染防止グッズを発売しています。オフィス内や外出先、打合せ時などに活用したいグッズ類を紹介します。

テクニカルライター
小暮 ひさのり

マスク以外にも使いたい 飛沫を防ぐグッズ

まず、感染防止策の基本は、密を防ぎ距離を取ることです。そのうえで、対面での会話を控え、マスクを着用することが求められます。一般的な不織布マスクでも飛沫拡散は抑えられ、エアロゾル（5マイクロメートル以下の小さな飛沫）の放出もおよそ半分に減

ることが判明しています。

また、他人の咳やくしゃみによる飛沫が目に入るのを防ぐためにはフェイスシールドが有効です。マスクと併用すれば、顔全体に高い感染予防の効果が期待できるでしょう。

フェイスシールドは装着感が悪く、照り返しや曇りで視界も悪くなりがちですが、シャープが新開発したフェイスシールドは、液晶

写真1

フェイスシールド FG-800M/FG-800S(シャープ)

オープン価格

シャープの液晶加工で培った特殊加工技術によって、反射や曇りを抑えた高品質シールド。利用にはマスクの併用が推奨されている



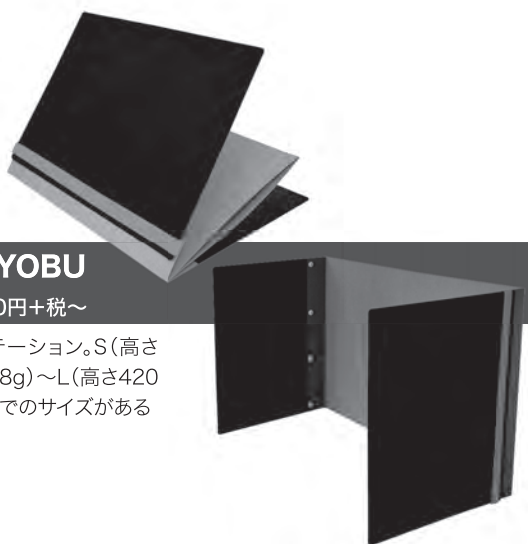
パネル開発で培った特殊加工技術を応用した低反射・防曇処理により、視界のクリアさが保たれています（写真1）。
また、飛沫は直進性が高いため、対面を防ぎ斜めに着座したり、頭の高さまであるパーテーションを備えると飛沫の飛散防止に

写真2

パーソナルパーテーション BYOBU (Humanité)

1,400円+税～

軽量で持ち運びに便利なノート型パーテーション。S(高さ312×奥行き250×幅450mm、約168g)～L(高さ420×奥行き355×幅600mm、約295g)までのサイズがある



繋がります。
カフェやコワーキングなど外出先での作業では、折りたたみ式パーテーションを携帯しておくことで、感染防止意識の表われとして周囲からも歓迎されるでしょう。視線を区切り、集中できるのもプラスになります（写真2）。

環境への対策として求められる 加湿と換気

マスクやフェイスシールド、距離を保つという対策は、飛散・感染防止として一定の効果を期待できますが、微細な飛沫（エアロゾル）の放出、吸入は完璧には抑えられません。

そのため、漏れ出たエアロゾルの空間への対策が必要です。

最近では「身につけるだけ」の除菌グッズや空間への除菌をうたう製品も見かけますが、消費者庁としては実際の生活空間内での効果を疑問視しています。噴霧による除菌も同様で、効果はメーカー独自の調査となり、国際的な評価方法は確立されていません。

そのため、現在とり得る手軽かつ効果の大きい方法として推奨されているのが、加湿と換気です。空気が乾燥していると、飛沫が急速に乾き、エアロゾル化する量も増えてしまいます。これを防ぐには、湿度を60%程度に維持するのが効果的です。

室内では、加湿器でしっかりと加湿しつつ、定期的に換気を行ない、空間に漂うエアロゾルを追い払いましょ。

特に冬場のオフィスは、エアコンによって乾燥しやすい環境なので、オフィス向けの対応畳数の大きな加湿器を導入したり、卓上加湿器で自分の周りの湿度を上げたりするのも有効です。

ただし、湿度が高くなると、エアロゾルは近場に落ちるため、机などを除菌するといった対策も必要となります。

除菌に効果的なのは アルコール系消毒薬と手洗い

アルコールが入り手困難だった頃は、家庭用漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）を薄めてモノを除菌す

写真3

携帯アルコール除菌スプレー (SMV JAPAN)

362円+税

携帯性に優れたペン型の除菌スプレー。
アルコール濃度70%。使用回数は約60～
100回。高さ135mm、20g



写真4

アルコールディスペンサー tette (キングジム)

4,900円+税～

手をかざすと自動でアルコール噴霧してく
れる。500mlタイプと1000mlタイプの2種
類。乾電池式



る方法が推奨されていました。

しかし、最近になって北里研究所の研究により、新型コロナウイルスの場合、次亜塩素酸ナトリウムで十分な不活化（除菌）効果を得るには、周知されている消毒液の作成濃度では不十分なことが判明しています。

濃度を高くすれば除菌効果は得られますが、手指へのダメージも

大きくなり、塩素臭も気になります。塩素は多くのウイルスに有効な手段ですが、新型コロナウイルスへの対策としては、選択肢から外したほうがよいでしょう。「次亜塩素酸水」についても同様の検証結果が出ています。

効果の高さと扱いやすさで考えると、やはりアルコール系の消毒薬がおすすめです。

新型コロナウイルスは濃度50%以上のアルコールであれば短時間で不活化できます。アルコールは使用後にニオイやベタつきなどが残らず、手指だけでなく様々な場所に利用できます。

デスクの除菌はもちろん、携帯しておけば手すりやエレベーターのボタンなど、公共の物を触った後にすぐに除菌できます。

外出時は、携帯性のよいペン型のスプレーボトルがおすすめです（写真3）。

長引くコロナ禍に備えて、室内の出入口の消毒薬をアップデートしておきましょう。

手をかざすだけで規定量を噴霧してくれる電動のディスペンサー（写真4）は、ポンプに手を触れることの抵抗感もなく、出しすぎで床や台まで汚れてしまう心配も

ありません。

必ずアルコール対応のものを選
びましょう。

こうしたアルコールによる手指
消毒も効果的ですが、もともと身
近で行ないやすい対策として大事
なのはやはり「手洗い」です。

新型コロナウイルスは界面活性
剤にも弱いので、ハンドソープな
どの洗剤で手洗いすることで、不
活化し洗い流せます。

写真5

ペーパーソープ (CHARLEY) 280円+税

持ち運びに便利なポケットサイ
ズの紙石鹸。ポケットやポーチ
に入れてもかさばらず、外出先で
の手洗いに活躍する。50枚入



写真6

BLE内蔵体温計 UT-201BLE (エー・アンド・デイ) オープン価格

Bluetooth 接続でスマホに記録ログを
保存できるスマホ連動体温計。医療機
器認証を取得しており、安心して選べる



異常を素早く検知するための 日々の備え

新型コロナウイルスの症状はさ
まざまですが、報告例に多いの

が、発熱・咳・倦怠感・味覚障害
などです。感染拡大防止にはこう
した不調をいち早く察知すること
も大事です。特に注意したいのが
発熱です。

咳や倦怠感は自覚しやすい症状
ですが、発熱の場合は、人によっ
ては熱の上がりやが緩やかな場合が
あり、気づかず数日出社して感染
リスクが高まる可能性もありま
す。こうしたリスクを下げるため
に、朝晩の検温を習慣化し、体温
変化をレコーディングしてみま
しょう。

この検温ニーズの高まりによっ

写真7

サーモゲート 零-ZERO- (PEBBLE) 29,800円+税

ドアに貼り付けるだけ。幅85 mm×高さ
110 mm×奥行23mm。来訪者の体温を
自動で計測し、異常をアラートで知ら
せる。手軽に行なえるオフィスの感染
症対策として注目される



てヒットしているのが、体温をス
マートフォンに自動保存してくれ
る体温計です(写真6)。

スマホからデータの移り変わりを
グラフとして可視化でき、観測
データはメールやSNSなどでの
共有も可能です。体調管理意識の
向上に繋がるアイテムとして注目
されています。

頻繁に人が出入りするオフィス
では、ドアに体温検知センサーを
採用する企業が増えていきます。立
ち止まつの検温が不要で、セン
サーの前に立つだけで来訪者の体
温を計測します(写真7)。発熱
の可能性がある場合はアラームで
知らせてくれます。

たとえば、オフィスの入口のセ
ンサーで異常が検出された場合に
は、該当者は一定時間別室に待
機。改めて医療機器(体温計)で
体温を計測するといった対策も取
れます。

これなら人の手を介さず発熱の
可能性がある人だけを、素早く発
見できるので、感染リスクも下げ
られます。

◇ ◇
コロナ収束の日に向けて、正し
く情報をアップデートし、新しい
日常を乗り切っていきましょう。▲

これまで ひさのり 編集プロダクションを経て独立。PC誌やWEB媒体を中心にデジタルアイテムのトレンドを追っているテクニカルライター。特技は掃除で、ハウスクリーニングアドバイザーの資格も所有している。